



学校だより

伸びゆく子

平成29年11月30日
横浜市立中沢小学校
12月 号

いろいろな人との結びつきを学ぶ

副校長 笹原 洋子

ニュータウン通りのイチョウが色づき始め、冬の到来を感じる頃となりました。

11月にはいろいろな行事を通して、子どもたちは様々な人との結びつきを学びました。

11月9日に実施した「全校遠足」は、1年生から6年生までの縦割りグループでの活動でした。学校を出発するときから帰着するまで、6年生がリーダーとなって活動しました。その中で、6年生と1年生、5年生と3年生、4年生と2年生のペアで異学年交流を深めました。6年生の多くは、「グループの全員を楽しませたい。」などの目標を掲げ、リーダーシップを発揮しました。それに対して、下級生からは「6年生のペアの人が道路を歩くときに僕たちを守ってくれた。(1年生)」、「6年生が考えてくれたゲームが楽しかった。(2年生)」、「ペアの人と仲良くなれた。(3年生)」などの感想があがりました。4年生になると「2年生のペアの子を楽しませることができた。」と上級生としての自覚が芽生え、来年最上級生となる5年生は、「6年生が上手にリードしてくれてすごかった。」と、1年後の自分の姿を少しイメージしながら振り返りをしていたようです。異なる学年の人と行動することで、子どもたちは日常とは違う人との結びつきを体験し、一回り成長したようです。

11月17日には大きなイベントである「音楽集会」がありました。クラスや学年で合唱や合奏を行いました。当日の発表に向けて、何か月も練習を重ねてきました。同じパートの友達と練習したり、クラスの友達と話し合いを重ねたりして曲を仕上げました。学年ごとにめあてを決め、取り組んだことで、同学年の友達と横のつながりを深められたことと思います。

そのほかに、5年生は24日に中尾小学校の友達と球技大会を行いました。スポーツですから勝敗はありますが、「勝っても、負けても、楽しんでがんばりましょう。」と事前にメッセージを交換し合い、サッカー、バスケットボールを通して、他校の友達と親睦を深めました。

また、これからイチョウの葉が落ちる季節を迎え、6年生をはじめとして子どもたちが地域の方々と一緒に落ち葉掃除の活動を計画しています。小学生としてというより、地域の一員としての人とのつながりを学習する機会になることと思います。

人は常にいろいろな人のお世話になったり、逆に支えてあげたりしながら生活しています。これらの様々な人間関係は当たり前前のことのようにですが、なかなかうまくいかないこともあります。子どものころからいろいろな人間関係を体験し、うまくいかないときに、どうしたらよりよく生活できるようになるのかを考えることは、とても大切な学習です。ご家族の皆様、地域の皆様の方をお借りしながら、子どもたちは様々な人と人との結びつきを学び、成長していきます。今後とも、お力添えをよろしく願いいたします。